

ふちゅう歴史散歩 Vol.61

備後国府跡の出土品⑦ 古代役所事務の必須品 硯



ツジ遺跡出土の硯と水注



備後国府跡出土の硯は、府中市歴史民俗資料館に展示中!

記載内容の訂正について
4月1日号の歴史散歩において、文化財などの名称について誤りがありました。正しくは、「常福寺」でした。訂正して、お詫び申しあげます。

備後国府は、奈良時代から平安時代を通じて備後の国を統括した行政府でした。そこでは、都から派遣されてくる「国司」と呼ばれる役人を筆頭に、約600人の職員や役人（律令官人）が働いていたと考えられています。役人の代表的職務として、現在の役所と同様に文書行政事務がありました。それを裏付ける重要な出土品として硯が存在します。

ツジ地区を中心とする元町で出土している硯は、破片にして200点を数えます。その98%が陶製の硯で、石製の硯は少なく数点です。硯の他にも付属文房具として、墨をする時に使用する水の容器である水注も出土しています。陶製の硯は、ほぼ須恵器といわれる焼物で、大きく分けて最初から硯として製作された定型のもの（定型硯）と、杯・皿などの別の用途で作られたものを硯として転用したもの（転用硯）が存在します。定型硯には、上から見た形状から凹面硯や風字硯といった種類があります。硯の破片に見られる墨痕や使用のためにツルツルに摩滅した硯面からは、当時の人達の息吹を感じることが出来ます。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

市民編 その7

府中公園

4月3日に、趣味のカメラを持って府中公園に出かけました。公園内の100~200本もある桜は、ほぼ満開で多くの家族連れが弁当を広げたりして花見を楽しんでいました。職場のグループでしょうか、宴会も盛り上がっていました。

公園内には2,500㎡の庄の池があり、4羽のアヒルも泳いでいて子どもたちの人気者です。時には遊歩道に上がって来て、人を追いかけることも…

また、桜以外にも、花しょうぶ、ハスの花、アジサイ、サツキ、フジの花など四季折々の花も見られます。近くに公園もあっていろんな遊具で遊ぶ子どもたちの歓声も聞こえて、にぎやかです。首無地蔵も近くですよ、皆さまもぜひお出かけください。



投稿者（文と写真）

森 輝男さん
プロフィール
写真を10年以上嗜み、公民館活動や写真連盟にも加入しています。



平成28年5月1日(1212)号

広報ふちゅう

(毎月1・15日発行)



ご意見、ご感想をお寄せください。

編集発行：府中市人事秘書課

〒726-8601 広島県府中市府川町315

☎0847-43-7111 (代表)

☎0847-43-7194 (広報担当)

HP <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp/>

HP 《携帯版》 <http://city-fuchu-m.plimo.jp/>

※右のQRコードからアドレスを読み取ることができます。